

復興シンポジウムat 戸定祭：  
震災7年目を経て、あらためて 震災と復興を語る  
—岩手県大船渡市細浦地区からの声—



← 細浦地区「復興朝市」の様子

2018年 11月3日(土) 13:00—15:00  
千葉大学松戸キャンパスE棟2階 206教室

震災から7年が経とうとし、震災に関する報道も減りつつある中で、大船渡市細浦地区の復興まちづくりの皆様から、現場の声を聴き、震災と復興の「現在地」を考える

司会：齋藤雪彦(千葉大学)

開会挨拶 岩脇晶(細浦地区再生協議会会長)

1.「発災当初の消防対応について」  
—消防の立場から見た被災と救助活動—  
上野新悦(元大船渡地区消防組合消防長)

2.「震災からの復興状況」  
—大船渡市、細浦地区の復興—  
滝田松男(大船渡市議会議員)

3.「大船渡さんま焼き師認定制度について」  
—復興をつうじて、大船渡を全国にPR—  
金野博史(元大船渡市総務部長、元大船渡観光物産協会事務局長)

まとめ：岩崎寛(千葉大学)

連絡先：齋藤研究室 047-308-8971 ysait8971arch@faculty.chiba-u.jp